

液状食品の金属異物検出

豊橋技科大など、装置開発

ドバンスフードテック（愛知県豊橋市）と豊橋技術科学大学（同）は、ジュースやドレッシングなど液状食品中の金属異物を検出する検査装置を開発した。愛知県が公益財団法人科学技術交流財団（同県豊田市）に委託し、産学官で進める共同研究開発事業「『知の拠点あいち』重点研究プロジェクト」の一環。

今年度中の発売めざす

センサーを工夫し金属の検出原理を変えた。一般的な金属探知機が誤って検出してしまった気泡や水分、塩分の影響を避けられる。対象は磁性を帯びる金属で、鉄の球の場合だと直径0・3ミリメートル以上を検出できる。様々な液状食品で試行し装置を改良。アドバンスフードテックが来年3月末までの発売を目指す。価格は約150万円の見込み。